

What's on, Kyodokodo

2010.7.2
No.26



CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 11月医療安全全国フォーラムのお知らせ
- 中間評価の報告
- これまでの取り組み成果のご報告のお願い

フォーラム・セミナー等のご案内

ひとことアドバイス

- 危険薬の誤投与防止(目標1)
- 医療関連感染症の予防(目標4)

- 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>
お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net
- 参加登録病院用のバナーができました!
→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A→ <http://kyodokodo.jp/faq.html>
参加登録事項変更等に関するQ&A
→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)

共同行動からのお知らせ

11月医療安全全国フォーラムのお知らせ

日程: 11月26日(金)～27日(土)

26日▶ 8目標に関する取り組み事例の発表とワークショップ

27日▶ 医療安全全国共同行動全体フォーラム

会場: 幕張メッセ国際会議場

<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html> (最寄り駅 JR海浜幕張駅)

* 11月27日(土)～28日(日)に同会場で医療の質・安全学会第5回学術集会在開催されます。

発表募集: 8目標に関する取り組み事例の発表を募集いたします。

募集期間▶ 8月9日(月)～10月4日(月)

応募方法▶ 共同行動ホームページをご参照ください(近日中に掲載予定)

これまでの取り組み成果のご報告のお願い

これまでの取り組みの成果のご報告をお願いいたします。

* 詳細はパートナーズ専用ページ <https://kyodokodo.jp/partners/index.php> をご覧ください。

中間評価の報告

定期報告をいただいている施設の報告データに基づいて、目標ごとの進捗度と死亡数の変化に関する中間集計を作成しパートナーズ専用ページ <https://kyodokodo.jp/partners/index.php> に掲載いたしましたので、ご参照ください。

フォーラム・セミナー等のご案内

全国フォーラム

医療安全全国共同行動 全国フォーラム

日程: 11月26(金)・27(土)

会場: 幕張メッセ国際会議場

8目標に関連するセミナー、シンポジウム、講習会

医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門(目標7に関連)

定員に達したため、募集を締め切りました

日程: 7/11(日)、8/1(日)、9/26(日) 全5回

会場: 自治医科大学付属病院 地域医療情報研修センター

* 詳細は http://kyodokodo.jp/event_list.html

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈富山地区〉 定員に達したため、募集を締め切りました

日時: 7月10日(土) 13:00~16:00(予定)

会場: 上市町文化研修センター(予定)

〈姫路地区〉

日時: 9月11日(土) 13:00~17:00

会場: 姫路商工会議所

〈旭川地区〉

日時: 10月16日(土) 午前中

会場: 旭川文化会館(予定)

〈東京地区〉

日時: 10月30日(土) 13:00~17:00

会場: 杏林大学 大学院講堂

主催 日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

* 各講習会の詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

ひとことアドバイス

危険薬の誤投与防止(目標1)

行動目標1に取り組むにあたって

行動目標1支援チーム 東北大学病院薬剤部 我妻 恭行

行動目標1「危険薬の誤投与防止対策」(http://kyodokodo.jp/index_b.html)は、4つの推奨対策と12のチャレンジ項目からなります。これらの危険薬誤投与防止対策のいくつかを実施することにより、薬剤を安全に使用できる仕組みを作りあげることが目的としています。

対策に取り組むにあたっては、まず、自分の施設の院内採用薬について危険薬のリストアップをすることから始めてください。共同行動で提供している「How to Guide」には危険薬とすべき薬剤群として、注射用カテコラミン、テオフィリン製剤、高濃度カリウム塩注射剤などの20項目を挙げていますが、必ずしもこの20項目にこだわる必要はありません。施設の事情や考え方に応じて危険薬の範囲を変えてかまいません。ただし、今回のキャンペーンでは、高濃度カリウム塩注射剤、高張食塩水注射剤、麻酔用筋弛緩薬は必ず危険薬として登録し、これらを安全に使用する体制作りを検討してください。

この中で高張食塩水注射剤(例:10%食塩注等)については、「10%食塩注がなぜ危険薬なのか?」「なぜ病棟配置禁止なのか?」という問い合わせが共同行動事務局に時々寄せられます。その理由を以下に解説します。高張食塩注に関する医療事故の多くはブドウ糖液との取り違いです(例:10%ブドウ糖液←→10%塩化ナトリウム注)。高張食塩注の取り違い事故の中には、高ナトリウム血症あるいはその合併症により結果的に死亡を含めた重大事故になったものも報告されています。また、現在市販されている10%塩化ナトリウム注20mLはプラスチックアンプル入りですので、ブドウ糖液20mL、生理食塩液20mL、硫酸マグネシウム注20mL等などの他の20mLプラスチックアンプル入り製剤と外観

が酷似しており、相互の取り違えの危険性が增大しています。一方で、高張食塩注は病棟などでは緊急で使用することはあまりないことから、共同行動では高張食塩注の病棟配置禁止を推奨しています。

医療関連感染症の予防(目標4)

VAPは減らすことができます



行動目標4支援チーム 秋田大学大学院医学系研究科救急集中治療医学講座 **多治見 公高**

ICU入室患者の多くは、尿道カテーテル、中心静脈カテーテル、気管内チューブが挿入留置されています。それらデバイスが原因の院内感染として、尿路感染(urinary tract infection: UTI)、血流感染(catheter-related blood stream infection: CRBSI)、人工呼吸器関連肺炎(ventilator associated pneumonia: VAP)を起こすリスクがあります。いろいろな報告で最も頻度が高いのはVAPです。

VAPの感染経路は外因感染と内因感染があります。起因菌が体の外から肺に侵入した場合が外因感染で、体内にいる菌が肺に侵入した場合が内因感染です。外因感染は気管内チューブの内側、内因感染は外側から肺への侵入です。内因感染は体内の常在菌により引き起こされる一次性内因感染と、新たに口腔内あるいは上部消化管内にコロニー形成された菌による二次性内因感染に分けられます。

感染経路により予防策は異なります。外因感染の予防は①気管吸引施行時の標準予防策の遵守、②人工呼吸器回路内の汚染対策です。内因感染の予防は、①口腔内と上部消化管内のコロニー形成予防、②胃内容物の口腔への逆流予防です。また、人工呼吸器装着期間が長いとVAPのリスクは高くなります。適切な鎮静剤の使用で早期の離脱を図り、人工呼吸器装着期間を短縮することがVAPを減らすことに繋がります。

VAPバンドルケア(VAP bundle care)なのか人工呼吸器バンドルケア(ventilator bundle care)なのか多少混乱があるようです。それはどちらでもよいのです。人工呼吸器装着患者によいと考えられることを束にして確実にチームで実施することでVAPを減らすことができます⁽¹⁾。日本集中治療医学会が策定したバンドル⁽²⁾を参考にして、VAPの合併をなくしましょう。

(1) Resar R, Pronovost P, Haraden C, et al.

Using a bundle approach to improve ventilator care processes and reduce ventilator-associated pneumonia. Joint Commission J. on Quality and Patient Safety. 2005; 31: 243 - 248.

(2) http://www.jsicm.org/pdf/jinkou_an.pdf

フォーラム・セミナー等のスケジュール

7月10日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター富山講習会	9月26日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門⑤
7月11日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門③	10月16日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター旭川講習会
8月1日(日) ▶ 医療安全へのヒューマンファクターズアプローチ入門④	10月30日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター東京講習会
9月11日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター姫路講習会	11月26日(金)・27日(土) ▶ 全国フォーラム

キャンペーンポスターをご利用ください
(HPからダウンロードできます)

完成版→http://kyodokodo.jp/shiryou_koho.html

基本デザイン→[パートナーズ専用ページ/メニュー](#)

★ウェブマガジンWhat's on, Kyodokodoは第1・第3金曜日に配信します

院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”

ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室

E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>